

京 観協だより

「京都市版DMO」として観光政策を推進



公益社団法人 京都市観光協会

会長 柏原 康夫

あけましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の京都観光においては、年間観光消費額が1兆862億円を記録し、初めて1兆円の大台を突破しました。また、その経済波及効果は1兆1,772億円にのぼり、国全体と比較しても観光産業が占める比率が大きいことが明らかになりました。この経済効果を京都観光の更なる発展へ繋げるとともに、観光業界における世界的な課題である「オーバーツーリズム」への対策として、京都市では宿泊税の導入が決まったことで、京都に対する世界からの注目はますます高まっています。

当協会では、昨年4月から、事務局を「企画推進部」「国内誘客推進部」「国際誘客推進部」の3部体制にするなどの組織改正を行い、新たに、認定通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」の養成や、これを活用した二条城等でのガイドツアーの開発、外国語研修 免税対応支援等をはじめとした外国人観光客の受入環境整備事業に取り組み、国内部門と国際部門の融合による事業展開を進めております。

また、葵祭ロイヤルシート、祇園祭辻廻し観覧プレミアム席など、三大祭における付加価値をつけた有料観覧席の新設や、「京の夏の旅」キャンペーンにおける日本天文学の礎を築いた「京都大学花山天文台」の初公開など、新たな視点を取り入れた事業に取り組みました。

情報発信の取組では、京都の国内観光、国際観光の旬の情報を発信するメールマガジン「京都観光MICE NEWS Letter」を広く配信したほか、これまで独自に調査を実施してきたホテル統計や、海外情報拠点レポートなどを日本語サイト上にも整理・掲載するなど、事業者のみならず経営支援の観点からの取組も進めております。

さらに、昨年11月には、観光庁が「日本版DMO候補法人」157法人の中から初めて登録した「日本版DMO」41法人の1つとして選定されました。「日本版DMO」は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための調整機能を備えた法人です。

本年は、「京都市版DMO」として、本格的にスタートを切る年になります。これまで以上に京都市と一体となつて、観光振興に取り組み、会員の皆様方をはじめ広く市民のための、事業者の稼い引き出すための観光政策の推進を二元的に担う組織を目指してまいります。どうか会員の皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。この一年のご健康とご多幸をお祈りして、年頭のご挨拶といたします。

世界文化自由都市・京都の実現を目指して



京都市長

かどかわ だいきゅう
門川 大作

あけましておめでとうございます。

新年に当たり、皆様の御多幸を心からお祈りいたします。

皆様の御支援をいただき、市長就任後十回目の新年を迎えまして。「美しいまち京都が誇らしい」「まち歩きを安心して楽しめるようになりましした」。多くの方からこうしたお声を頂く度、京都のまちが着実に深化してきたことを肌で感じ、嬉しく、御尽力の皆様にご感謝申し上げます。

そして迎えた本年。京都が最高の都市理念として掲げた世界文化自由都市宣言から四十年です。「広く世界と文化的に交わること」によって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市。この理想の実現を目指し、「文化」を基軸としたまちづくりを更に加速させる年がスタートしました！

文化庁が機能を強化し、二〇二二年度に京都へ全面的に移転。これを大きな力に、子育て支援や教育・福祉、観光、景観、環境、中小企業の活性化、雇用の創出、安心安全など、あらゆる施策に文化で横串を通す。さらに、文化や地域活動に親しむ「京都ならではの働き方改革」でまちに一層の活力を生み、地方創生のモデルを示す。新年を迎え、決意を新たにしています。

とりわけ、好調を維持している観光は本市の基幹産業であり、それを支えていただいているのは京都市観光協会、そして、皆様おひとりおひとりです。

住宅宿泊事業法の施行など、観光を取り巻く情勢も変化していますが、本市としましては「日本に、世界に、京都があつてよかった」と多くの方に実感していただけるよう、全力を尽くしてまいります。

本年は、明治維新から百五十年。都の地位を失い、都市存亡の危機を迎えていた京都を、全国初の小学校や芸大、工業高校の創設、琵琶湖疏水や市電の開業などで見事に復興させた先人たちが。その志と偉業に学び、共に挑み続けければ、様々な課題を克服し、世界文化自由都市の理想を実現できると私は確信しています。京都の旅をはじめ、ともに盛り上げてまいります。

引き続き、皆様の御指導、御支援、よろしくお祈りいたします。

第52回「京の冬の旅」キャンペーン始まる！

期間：平成30年1月1日（月・祝）～平成30年3月21日（水・祝）

昭和41年度から始まり、今年度で52回を迎える冬の観光キャンペーン「京の冬の旅」のテーマは「**明治維新150年記念**」と「**西郷隆盛**」。平成30年（2018）は近代日本の幕開けとなった慶応4年（1868）の「明治維新」から150年。また、維新の立役者のひとりである西郷隆盛を主人公とした大河ドラマ「西郷どん」放映にちなみ、幕末・明治維新や西郷隆盛ゆかりの寺院など15ヶ所の文化財の特別公開をはじめ、定期観光バス特別コースでは、特別公開社寺などを巡る定番4コースに加え、初開催となる北野天満宮の梅苑ライトアップを訪ねる新企画の「夜のコース」のほか、朝の禅寺で坐禅体験や朝食をいただく「朝のコース」や学びの要素を詰め込んだ「大人の修学旅行コース」など、新たな内容で運行します。

また、「明治維新150年」記念イベントとして、明治の近代化遺産をめぐる岡崎界限ウォーキング、酒蔵見学や試食もできる伏見・大手筋商店街ぶらり歩き、「明治維新と西郷隆盛」をテーマに歴史の専門家に学ぶ講座や街に出て学ぶ課外講座「みやこ学び旅2018」などを開催します。

その他にも「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」の3つのテーマのもとに、京都「千年の心得」「京のたしなみ」「食遊業都」などの体験型イベントも実施し、JRグループ6社と共同で全国規模での観光キャンペーンとして実施します。

ポスター、パンフレットの掲出配布をはじめ、テレビ、新聞、雑誌、旅行会社パンフレットへの記事掲載など、関係諸団体との連携を図りながら、様々な媒体を活用し、「京の冬の旅」の情報発信に努めています。

なお、キャンペーンの詳細は「京の冬の旅」パンフレットをご覧ください。

■「京の冬の旅」宣伝展開について

○パンフレット

「京の冬の旅」イベントガイドブック 100万部／リーフレット 45,000部

○ポスター

地元作成ポスター 27,810枚／JRグループ作成ポスター 132,440枚

○その他宣伝媒体

- ・京都市営地下鉄車内 横枠広告／指詰防止ステッカー広告
- ・旅行雑誌『別冊旅の手帖 京の冬の旅』
- ・JR時刻表紙面でのキャンペーンイベントPR
- ・JRジパング倶楽部会員誌での「冬の京都」特集
- ・テレビ「遠くへ行きたい」でのCM放映 など

その他、テレビ・新聞、JRや関西私鉄の情報紙やインターネットでの情報発信など様々な媒体で「京の冬の旅」を取り上げていただくなど、幅広い宣伝展開を図っています。

○「京の冬の旅」定期観光バス特別コース試乗・取材会の開催

平成30年1月9日（火）

○京都デスティネーションキャンペーン「京の冬の旅」

オープニングイベントの開催

平成30年1月10日（水）

会場：泉涌寺（京の冬の旅 特別公開寺院）

○観光キャラバンの実施

東京、博多など主要都市での観光キャラバンを実施



秋の特別企画事業 実施報告

秋の観光客誘致・受入事業として、金戒光明寺、霊鑑寺、宝鏡寺、旧三井家下鴨別邸のほか、初公開となる浄住寺、秋としては初公開のノートルダム女学院中学高等学校「和中庵」を加えた計6か所の特別公開を実施しました。

また、東福寺境内を会場に、京野菜、清水焼、京の酒等の京都の名産品が集う「京都・東福寺マルシェ」を東福寺、京阪電車と共催で開催し、東福寺三門の公開もあわせて実施しました。

特に浄住寺は、初公開ということでテレビや新聞で取り上げられました。また、阪急電鉄の協力を得て、阪急梅田駅等沿線主要駅において宣伝を行い、連日多くの拝観者で賑わいました。

期間中、合計86,367名の拝観・見学者数を数えました。

- 東福寺三門 平成29年10月28日～11月5日
- 金戒光明寺 御影堂・大方丈・庭園／山門
平成29年11月10日～12月3日
- 霊鑑寺 平成29年11月18日～12月3日
- 宝鏡寺 平成29年11月1日～30日
- 旧三井家下鴨別邸 平成29年11月16日～12月5日
- 浄住寺 平成29年11月18日～12月3日
- ノートルダム女学院中学高等学校「和中庵」
平成29年11月24日～12月3日



初公開「浄住寺」

平成30年春『琵琶湖疏水通船』が 67年ぶりに復活運航！

貴重な産業遺産「琵琶湖疏水」を活用し、沿線の大津・山科・岡崎地域の更なる活性化に結び付けることを目的とした「琵琶湖疏水通船」事業は、いよいよ「明治150年」の節目となる平成30年春に本格運航を開始します。



当協会では「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」の事務局を務め、「疏水通船」を新たな観光資源として、岡崎・山科など沿線の魅力を広く発信してまいります。

【琵琶湖疏水通船】

船上からは、トンネル内の豎坑、出入口に掲げられた明治を代表する政治家などが揮毫した扁額や、桜や新緑、紅葉などの四季折々の風情が楽しめます。

- 期間：平成30年3月29日(木)～11月28日(水)のうち
春・秋を中心に年間約82日運航
- 大津発⇒蹴上着(下り便) 1日5便 各定員12名
- 蹴上発⇒大津着(上り便) 1日4便 各定員8名(予定)
- 乗船料金(消費税込)：
通常期〈月・木・金(平日)〉4,000円
繁忙期〈土・日・祝〉5,000円
トップ期(桜や紅葉の時期、大型連休など)8,000円
※火・水曜日(トップ期を除く)は運休

【予約連絡】

びわ湖疏水船受付事務局

問い合わせ TEL：075-365-7768 (9:30～17:30
土曜・日曜・祝日休)

(平成30年2月1日～電話開通)

Web予約 <http://www.biwako-sosui.jp/>

琵琶湖疏水通船の本格運航にあたり、事業の自主的、安定的な運営を目的として、皆さまからの協賛を募集しています。詳細は琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会事務局(京都市観光協会内)にお問い合わせください。
TEL：075-213-0020(平日9:00～17:00)

京都・嵐山花灯路—2017 開催報告

京都府・京都市・京都商工会議所・京都仏教会・京都文化交流コンベンションビューローと共同で実施する「京都・嵐山花灯路」が12月8日から17日にかけて、開催されました。13回目を迎えた今回は、「灯りと花の路」、「いけばなプロムナード」、「渡月橋・竹林の小径・小倉池ライトアップ」や、昨年好評を得た「ご当地キャラクタースタンプラリー」、「嵐山モンキーパークいわたやま」の夜間開園などに加え、「トロッコ列車」の臨時運行、「長神の杜でのプロジェクションマッピング」などが実施されたほか、沿道の社寺の特別拝観・開館とライトアップ等が行われ、114万2千人に及ぶ多くの来場者をお迎えしました。

「京都・花灯路」にあたり、会員各位に多大なご支援を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。



二条城ガイドツアーを開始

当協会では、世界文化遺産・二条城において、昨年11月1日から、毎日2回、日本語、英語によるガイドツアーを実施しています。二条城には、これまでから音声ガイド機や多言語パンフレットはありましたが、有人によるガイドツアーの本格実施は初めてです。

英語ツアーについては、昨年2月の試行実施で得た知見を踏まえ、当協会が育成する京都市認定通訳ガイド(京都市ビクターズホスト)が案内を担当。分かりやすい解説に加え、通常非公開の場所の観覧も含め、内外の観光客に対し、プレミアム感のある体験を提供しています。

○日本語ガイドツアー

料金：1,000円/人

(入城料は別途必要)

時間：11:00～、13:30～

定員：各回15名(先着順)

○英語ガイドツアー

料金：2,000円/人

(入城料は別途必要)

時間：10:00～、12:30～

定員：各回15名(先着順)



新入会員の紹介

SOO (ソマル) 京友禅の土産品製造	代表 日根野 孝司
京都木村家宝飾細工本店「水と油」	
宝石・貴金属製造輸入卸、自社ブランドの販売	代表取締役 木村 行宏
京都コンシェルジュサロン株式会社ジバンダ	
インバウンド系ビジネス、サロンの運営	代表 圓尾 伸三
株式会社ポボンデッタ 鉄道模型・ジオラマ製造販売	店長 谷口 慎一郎
本庄商事株式会社 土産品取扱	代表取締役 本庄 政子
株式会社カワタキコーポレーション 総合商社 日用品の卸業	代表取締役 川端 健嗣
Gion HANNA STAY 宿泊施設	支配人 安田 拳慈
THE LAST SAMURAI, JOE OKADA	
英語ガイドツアー、案内業	岡田 逸雄
株式会社三笑堂 介護・福祉用具の販売、レンタル事業	代表取締役 上田 勝康
カシオ計算機株式会社大阪営業所	
時計・電子辞書等の製造販売	所長 小林 清彦
株式会社バイカル 洋菓子の製造販売	代表取締役 岩井 一路
株式会社タナベ タクシーメーター製造販売取付等	代表取締役 田辺 紀之
エイセツ 英会話教室・英語ガイドツアー提供	代表 茶谷 匡晃
ダイワロイヤルホテルグランデ京都 宿泊施設	開業準備室長 大石 博史
通称寺の会 社寺	会長 大橋 憲宏

～ご入会ありがとうございました～

京なびニュース

京なびの昨年秋の利用状況についてご報告します。10月11月は京なびから近い京都国立博物館の国宝展の人気により入場券購入やアクセス等をたずねる日本人観光客で賑わいました。一方、他都市への移動など案内に時間を要する傾向にある外国人観光客はやや減少しており、カウンターに長い行列ができる機会は少なめでした。紅葉の色づきが例年より早く、天候も安定していたことから11月は常に賑わい、ピーク時には1日5,200人以上が訪れ、約3,500人がカウンターを利用しました。

■京都総合観光案内所利用者調

<相談利用者数>

	日本人	前年同月比	外国人	前年同月比	合計	前年同月比	外国人比率	自動発券機	前年同月比
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(%)	(人)	(%)
29年10月	36,028	106.1	39,033	97.4	75,061	101.4	52.0	133,910	98.2
11月	48,885	107.5	31,545	92.4	80,430	101.0	39.2	142,638	99.5
12月	32,695	98.5	25,668	93.6	58,363	96.3	44.0	114,667	95.2

<外国人観光客 国籍別比率>

	1位	2位	3位	4位	5位
29年10月	中国 19.0%	韓国 10.9%	アメリカ 9.2%	オーストラリア 6.9%	フランス 5.7%
11月	中国 18.7%	アメリカ 9.9%	台湾 8.6%	韓国 6.3%	タイ 5.6%
12月	中国 16.8%	韓国 10.1%	シンガポール 9.1%	アメリカ 7.7%	台湾 7.6%

京なびの資料作成係（日本語）です。京なびではお客様に手渡す手作りの資料も作成しています。桜や紅葉の進行状況の一覧表、寺社の特別公開や夜間拝観、年末年始のお店の休業情報、アクセス不便な寺社への案内など多岐にわたります。

こうした情報を発信するためにはまず情報の収集が重要です。時期にあわせ会員の寺社、施設に電話をして確認する地道な作業をおこなっています。これからもお客様に必要なかつ適切な情報を収集し、会員の皆様の情報・資料を提供していくよう努めます。今年もよろしくお願いたします。



京都総合観光案内所 崔・鈴木・花川・村田

秋の臨時観光案内所を 京都駅前広場に開設しました！

秋の入洛観光客のピークを迎える11月18日（土）・19日（日）・23日（木・祝）・25日（土）・26日（日）の5日間、JR京都駅前広場に臨時観光案内所を開設しました。平成27年の秋から、桜・紅葉のハイシーズンに同場所で行い、今回で5回目となりました。府全域の観光案内を英語・中国語でも対応し、利用者は5日間で約13,150人と、一昨年秋や春を超える多くの方で賑わいました。次回は3月24日（土）・25日（日）・31日（土）、4月1日（日）の4日間、開設予定です。

